

今週の AINews

中園康聖

2024/03/06

目次

1 OpenAI とロボット

- FigureAI
- LLM を利用した報酬関数設定「Eureka」

1 OpenAI とロボット

FigureAI、OpenAI から資金提供を受ける

FigureAI が、Microsoft や Nvidia、OpenAI などから 6 億 7500 万ドル (約 1000 億円) の資金提供を受けた。FigureAI は、人型ロボットの開発を行っており、今後は OpenAI との協力を強化するとしている。以下はデモ動画である。

- 2 足歩行
- コーヒーを淹れる
- 物を運ぶ
- 人と対話する (OpenAI と連携)

Eureka

ペン回しのような、低レベルかつ複雑なタスクに LLM を利用することは困難な問題として知られている。そこで、LLM のコード生成を用いて進化的最適化を行い、報酬関数設計を行う。説明ページはこちら。

Eureka の構成図

Eureka の構成は図 1 のようになった。

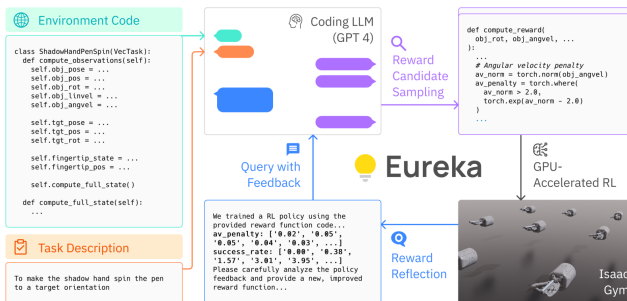


Figure 1: Eureka の構成図

結果

- 83%のタスクで、人間が設計した報酬関数よりも良い報酬関数を設計できた。
- Eureka は、複雑なタスクほど人の報酬と負の相関を持ったが、いくつかのタスクでは負の相関を持ちながら人間の報酬を上回った。